自 己 点 検 評 価 報 告 書

令和7年度

阪和鳳自動車工業専門学校

令和 8年 8月 31日作成

阪和鳳自動車工業専門学校　自己点検評価

評価基準

基準を満たし、特に優れた取り組みが見られる・・3
概ね基準を満たしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
基準を満たしておらず改善が必要・・・・・・・・・・・・・1

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価
項目1 教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3

〈評価結果の分析〉

小項目1　自動車整備の知識と実践的な技術を教えるとともに、教養を深めて豊かな人間性を育み、優秀な自動車整備士を養成に務めている

〈今後の改善策〉　技術の進化に伴い教員の育成、若手教職員の採用

項目2 教育課程、教育の実施、学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3
	2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3
	4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3
		学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3

〈評価結果の分析〉

小項目1　自動車整備士養成施設（第1種）の国が定めるルールに沿って、教育の基本方針とカリキュラムを決めました。学習の順序や内容のつながりをできるだけ考えて、体系的に学べるように授業を配置しています。

小項目2　授業科目ごとに合わせた講義や実習が用意されています。また、企業と連携した実習を行ったり、企業から提供された教材を使用したりしています。

小項目3　国が定める自動車整備士養成施設の基準に基づき、本校が目指す整備士を育てるための卒業基準を設けています。そして、その基準をしっかりと満たした学生に対して、卒業の認定を行っています。

小項目4　自動車整備国家試験に100%合格、就職の内定率も100%で学生が希望する進路に進んでいます。

〈今後の改善策〉

自動車の技術進歩が著しく、最新の自動車技術に特化した定期的な学内研修の開催が必要と考えています。

項目3 学生の受入れ学生支援	1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	2
		②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	2
	2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2
	3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	1
	4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	1
		②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	2
		③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2
		④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2
		⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3

〈評価結果の分析〉

小項目1　入学者受け入れ方針および選考基準を策定し、学校説明会等を通じて事前に広く公表しています。また、実際の入学者選考においても、あらかじめ定めた基準に基づき厳正かつ公正に実施し、適正に合否を判定しています。

小項目2　入学前教育や学生の放課後の補習を無理のない範囲でしています。

小項目3　留学生の受け入れが出来ていないため

小項目4　カウンセラーが不在、担任の教員が相談に対応しています。卒業後の就職先に関して、学生の希望に添えている

〈今後の改善策〉

専属のカウンセラーがいない、留学生の為の生活支援するスタッフの人的問題を解決しない事には留学生の受け入れが難しいと考えています。

項目4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	2
		②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2
	2教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2
		②教員間で連携、協力体制を構築していること。	2
	3教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うなどの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2

〈評価結果の分析〉

小項目1	整備士養成の指定基準に基づき、資格を持った教員を人数以上配置しています。教員募集はハローワーク等にお願いしています。
小項目2	授業担当だけでなく、それ以外の業務も分担しています。
小項目3	進化していく技術に対して、高度な整備技術を持った教職員の育成をしています。

〈今後の改善策〉

教員の高齢化、若手教職員の採用が急がれる。企業や在校生に対して求人募集をしていきます。

項目5 教育環境	1教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2
		②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	1
		③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	1
	2安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2
		②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2
	3施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2
		②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2

〈評価結果の分析〉

小項目1	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えています。自習スペースとしては教室を使用しています。
小項目2	毎年、消防施設の点検を法令どおりに実施しています。
小項目3	毎日の見回り点検、毎月の点検を職員に分担して見て頂いています。

〈今後の改善策〉

建物が老朽化による不具合場所を順次改築・改修・補修を進めていき、図書室を開放できるよう準備していきたい。

項目6 教育活動の基盤と改善・向上の取組	1中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2
		②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2
	2学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)。	2
	3学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	1
		②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	2
		③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2
	4社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2
		②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。	2

〈評価結果の分析〉

小項目1	学生数を確保するため、計画的に学生募集活動を行っている。SNSを利用しつつ、学校訪問を中心として活動していく
小項目2	校長をはじめとする管理職のもと、業務を役割や担当ごとに分担して責任を明確にした組織体制を整備しています。
小項目3	学校評価の結果を受け止め、全教職員が共通理解のもとで組織的な改善に努めています。
小項目4	本校の活動達成状況を、保護者の方々に保護者会等通じてお知らせをしています。

〈今後の改善策〉

本校の情報をホームページも含めSNS等を活用に公開していく